

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本 科目コード：130019 生活援助論Ⅰ Basic Nursing SkillsⅠ					
担当教員	中田 弘子、田村 幸恵、田淵 知世、瀬戸 清華				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	看護技術、基本的技術、安全性、安楽性、自立性				
学習目的・目標	【学習目的】 看護の対象の生活行動の援助に共通する基本的技術を理解し、根拠に基づいて実践できる力を身につけることを目的とする。 【学習目標】 1. 看護におけるコミュニケーションの目的と基本的な技法を理解できる。 2. 感染予防策の基本的な知識を理解し、スタンダードプリコーションを確実に実践できる。 3. 対象の生活環境を整える目的を理解し、その方法を実施できる。 4. 対象の活動と休息を整える目的を理解し、その方法を実施できる。 5. 授業に必要な事前・事後学習に取り組み、積極的に授業へ参加できる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1	ガイダンス 1) 生活援助論について 2) 基礎看護学実習室オリエンテーション				中田 瀬戸
2-3	コミュニケーション技術 1) 看護におけるコミュニケーションとは 2) 傾聴の技術 3) プロセスレコード（再構成）について				中田
4-5	感染防止の技術 1) 感染防止の基礎知識 2) 標準予防策（スタンダードプリコーション）				田村
6-7	環境整備技術(1) 1) 病床・病室の生活環境の調整 2) リネン類の扱い方 3) ベッドメイキング				田村
8-9	活動・休息援助技術(1) 1) 基本的活動の基礎知識（良い姿勢・ボディメカニクス） 2) 基本的活動の援助（体位変換・水平移動等）				中田 瀬戸
10-11	環境整備技術(2) 1) 生活環境の調整技術 2) 臥床患者のリネン交換				田村
12-13	活動・休息援助技術(2) 1) 睡眠・休息の援助、体位保持（ポジショニング） 2) 活動の調整技術（車椅子への移乗等）				瀬戸 田淵 中田
14-15	活動・休息援助技術(3) 1) 活動の調整技術（歩行時の介助、歩行介助用具、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送） 2) 転倒・転落防止				田淵 瀬戸 中田
教科書	茂野香おる編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ，医学書院 任和子編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ，医学書院 任和子，秋山智弥編集：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術（第2版），医学書院				
参考図書等					
評価指標	・2/3以上の出席で成績評価資格を有する。 ・筆記試験80%、提出物20%、授業への積極的な態度から総合的に評価する。 ・提出物とはレポート課題、事前学習課題、授業出席表等である。				
関連科目	看護学概論、生活援助論Ⅱ、フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ、看護過程論、診療補助技術論Ⅰ・Ⅱ等				
教員から学生へのメッセージ	生活援助論Ⅰでは、看護の基本的な技術を学びます。基本的といっても簡単な技術ではありません。これらの技術の修得には、知識の定着とともに反復練習が必要です。自学自習時間等を活用した練習を期待しています。				